被災地方言会話集

ー　宮 城 県 気 仙 沼 市　ー

＜場面設定会話＞

場面設定会話の概要

収録地点　　宮城県気仙沼市

収録日時　　2012（平成 24）年 8 月 1 日

収録場所　　宮城県気仙沼市塚沢　旧月立中学校

話題　　【場面設定会話】
　全 13 場面

話者

A	女	1941（昭和 16）年	（収録時 71 歳）	［Bの知人］
B	男	1937（昭和 12）年	（収録時 75 歳）	［Aの知人］

話者出身地

A　気仙沼市波路上（ハジカミ）

B　気仙沼市塚沢（ツカザワ）

改訂公開日第 2 版 2013 年 3 月 8 日

【場面設定会話】

話し手

A	女	1941（昭和 16）年	（収録時 71 歳）
B	男	1937（昭和 12）年	（収録時 75 歳）

〈 あいさつ 〉

(1) 朝、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001Ａ：アレー　ドゴサ　イク゛ノー。
あれ　どこへ　行くの。

002Ｂ：スコ゛ドスサ。　イマ　ヒョーバイデ　イク゛ドゴ。
仕事しに。　今　商売で　行くところ。

003Ａ：アー　ホント。　ア　ンデ　イッテダイン。
あー　本当。　あ　それでは　行ってらっしゃい。

004Ｂ：ハイ　マイド　ドーモネー。
はい　毎度　どうもね。

005Ａ：ハイー。
はい。

(2) 昼、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001Ａ：アレ　オヒルダネー。　オヒル　タベダノスカー。
あれ　お昼だね。　お昼　食べたんですか。

002Ｂ：マダダー。
まだだー。

003Ａ：ンデー　ハヤグ　タベデー　オヒルネスライン。
それでは　早く　食べて　お昼寝してください。

004Ｂ：ハイ　アリカ゜トー。
　　はい　ありがとう。

005Ａ：ハイー。
　　はい。

(3) 夜、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001Ａ：オバンデゴザリースー。
　　こんばんは。

002Ｂ：オバンデース。
　　こんばんは。

003Ａ：イマ　カエッタノスカー。
　　今　　帰ったんですか。

004Ｂ：ハーイ。
　　はーい。

005Ａ：ンジャ　　キツケデネー。
　　それじゃ　気をつけてねー。

006Ｂ：ハイ　オヤスミー。
　　はい　お休み。

〈 労い 〉

(4) Ａが仕事に精を出すＢと会い、Ｂの労をねぎらう際にどのようなやりとりを行うか。

001Ａ：ア　ナニシテタドゴッサー。
　　あ　何していたところですか。

002Ｂ：スコ゜ドステダー。
　　仕事していた。

003Ａ：アー　ナントー　ゴクローサンデゴザリッスー。
　　あー　なんと　　ご苦労さまでございます。

004Ｂ：ウーン　オモイガラ　アセ　カイデダー。
　　うーん　重いから　　汗　　かいてた。

005Ａ：アー　カラダ　ヤスメナカ゛ラ　ヤラハリセー。
　　あー　体　　休めながら　　おやりなさいませ。

006Ｂ：ハイ　アリカ゛トヨー。
　　はい　ありがとよ。

007Ａ：ハイ。
　　はい。

〈 勧め 〉

(5) Ａが、仕事をしているＢに、「少し休んでお茶とお菓子でも食べなさい」と勧める際のやりとり。

001Ａ：ハイ　イップグシタラー。
　　はい　一服したら。

002Ｂ：ハーイ　アンマリ　ココ゛マッテッドー　コッサ〔1〕　マカ゛ッカラナ。
　　はーい　あんまり　かがんでいると　　腰が　　曲がるからな。

　　イップグスッガ。
　　一服するか。

003Ａ：ンダネー　　ヤスマハリセー。　（Ｂ　ハイ）　アマッコイモノデモ　ドーゾー。
　　そうだねー　お休みなさいませ。（Ｂ　はい）　甘いものでも　　どうぞ。

004Ｂ：ハイ　ドーモ　アリカ゛トー。
　　はい　どうも　ありがとう。

005Ａ：ハイ。
　　はい。

〈 訪問時の声掛け 〉

(6) 昼間、ＡがＢ宅を訪れるときにどのように声をかけるか。また、返事をするか。

001Ａ：コンニズワー。
こんにちは。

002Ｂ：オーイ。
おーい。

003Ａ：イダノスカー。
いたんですか。

004Ｂ：ハーイ　ヒトリ　イダヨ。
はーい　一人で　いるよ。

005Ａ：アー　ナントー　ンジャ　アノー　ヨーダゲ　ユッテ　カエッカラッサー。
あー　なんと　それじゃ　あのー　用だけ　言って　帰るからね。

006Ｂ：イヤ　ユックリ　アカ゜ッテ　オジャッコ　ノマイン。
いや　ゆっくり　［家に］上がって　お茶　飲んでください。

007Ａ：ハイハイ。　ンデー　アドデ　クッカラー。
はいはい。　それでは　後で　来るから。

008Ｂ：アラー　ナント　イソク゜ゴドー。
あら　何と　急ぐこと。

009Ａ：ハイ。
はい。

〈 借用の依頼と受託 〉

(7) ＡがＢにスコップを借りるときのやりとり。（Ｂが貸す場合）

001Ａ：イマー　アナホリシテタンダケントモッサー。
今　穴掘りしていたんだけれどもね。

002Ｂ：ウン。
うん。

003Ａ：スコップー、サギ　マグレデテ　　サッパ　　ホレネクテー、カリニ
　　スコップ、　先　　めくれていて　さっぱり　掘れなくて、　借りに

　　キタンダケントモ　カシテケンネベガネスー。
　　来たんだけれども　貸してくれませんかねえ。

004Ｂ：ア　イーヨ。　ソゴニ　アッカラ　モッテケ゜ー。
　　あ　いいよ。　そこに　あるから　持っていけ。

005Ａ：ハイ　コイッテ　イーベガネッスー。
　　はい　これで　　いいでしょうか。

006Ｂ：アー　ソイズダー。
　　あー　それだー。

007Ａ：ハイ　ホンデ　　コイズ　カリテイッカラ。
　　はい　それでは　これ　　借りていくから。

008Ｂ：ハーイ。
　　はーい。

009Ａ：ハイハイ。
　　はいはい。

〈 お礼 〉

(8) Ａが借りたスコップをＢに返しに行ったときのやりとり。

001Ａ：ア　サッキ　カリダ　スコップー、　オカケ゜サマデ　　シコ゜ド
　　あ　さっき　借りた　スコップ、　　おかげさまで　　仕事

　　ハガイッタヤー。
　　はかどったよ。

002Ｂ：アー　ソイズァ　ウデカ゜　イーカラガナー。
　　あー　それは　　腕が　　いいからかな。

003Ａ：アー　ソーダイガネ。　スコップ　　イガッタガモ。｛笑｝
あー　そうだろうかね。スコップ［が］　よかったかも。｛笑｝

アリガ゛ドゴザリシタ。
ありがとうございました。

004Ｂ：ハーイ。　イガッタゴドワ。
はい。　よかったこと。

005Ａ：ハイ　ドーモ　ドーモ。　オガケ゛サマデシター。
はい　どうも　どうも。　おかげさまでした。

006Ｂ：ハーイ　マダ　ドーゾ。
はーい　また　どうぞ。

〈 破損の謝罪・許容・不満 〉

⑼ ＡがＢに借りたスコップを壊してしまい、謝るときのやりとり。

（9-1）Ｂが構わないという場合。

001Ａ：アノ　サッキ　カリデッタ　　スコップッサー、
あの　さっき　借りて行った　スコップさ、

002Ｂ：ハーイ。
はーい。

003Ａ：ナンダガ　イシサ　アダッタガ　マグレデシマッテ　コワシテシマッタヤー。
何だか　石に　当たったか　めくれてしまって　壊してしまったわ。

004Ｂ：ハイ　イガッスヨー。　ソゴサ　オイデッテケライン。
はい　いいですよ。　そこに　置いて行ってください。

005Ａ：アラー　アンマリダネー。　ワルイゴドー。
はい　あんまりだね。　悪いこと。

006Ｂ：ハーイハーイ。
はいはい。

007Ａ：モーシワゲナイネー。
　　申し訳ないね。
008Ｂ：ドーゾドーゾ。
　　どうぞどうぞ。

009Ａ：アリガ゜ドゴザリシタ。
　　ありがとうございました。

010Ｂ：ハーイ。
　　はーい。

(9-2) Ａが破損に対して不満を述べる場合。〔2〕
001Ｂ：オガケ゜デ　ゴボンワ　ホッタケントモー　スコップ　コワスチマッタヤ。
　　おかげで　牛蒡は　掘ったけれども　スコップ　壊してしまったよ。

　　ヤーヤ　モーシワゲネーヤ。
　　いやいや　申し訳ないなあ。

002Ａ：アラー　ナンダベー。　オライデモ　コイズスカネーノニ、　ナゾスッペー。
　　あらー　なんだろう。　私の家でも　これしかないのに、　どうしよう。

003Ｂ：ンデワー　ベンショースルヨーダドイーガナー。
　　それでは　弁償するようだといいかな。

004Ａ：ベンショーマデ　スナクテモ　イーガラ　コゴノ　マグレダドゴダゲ
　　弁償まで　しなくても　いいから　ここの　めくれたどころだけ

　　ナオシテケンネベカ。
　　直してくれないだろうか。

005Ｂ：アー　ソンダラ　オレモ　タスカルナー。
　　あー　それなら　おれも　助かるなー。

006Ａ：ハイー。
　　はい。

〈 誘いと断り 〉

(10) ＡがＢを物産市に誘う際のやりとり。

001Ａ：ア　キョー　アレ　ブッサンイチカ゜アッカラ　イカ゜ネッスカ。
あ　今日　あれ　物産市が　あるから　行きませんか。

002Ｂ：ウン　オレァ　アノー　テンノーサマデ〔3〕オガク゜ラ　アッカラ（Ａ　ン）
うん　おれは　あのー　天王様で　御神楽　あるから（Ａ　うん）

エカ゜レネーヤ。
行けないな。

003Ａ：アー　ソー。（Ｂ　ウン）ナント　セッカグノ　ブッサンイチナンダゲット
ああ　そう。（Ｂ　うん）何と　せっかくの　物産市なんだけど

ザンネンダネー。
残念だねー。

004Ｂ：アー　ンダナー。
ああ　そうだなー。

005Ａ：アー　ホンデ　オラ　イッテクッカラ。
ああ　じゃあ　私　行ってくるから。

006Ｂ：ア　イッテダイン。
あ　行ってらっしゃい。

〈 お見舞い 〉

(11) 体調を崩しているＢに、Ａが体の調子を尋ねる際のやりとり。

(11-1) Ｂの調子がいい場合。

001Ａ：アレ　ナント　キノーマデ　ゲンキデ　イダッケー、　チョーシ　ワルイッテ、
あれ　なんと　昨日まで　元気で　いたのに、　調子　悪いって、

ダイジョーブダイガ。
大丈夫だろうか。

002Ｂ：ウーン　コノ　アツササゲァー　トーリスキ゜レバ　マダ　モドニ　モドッカラ。
うーん　この　暑ささえ　　通り過ぎれば　　また　元に　　戻るから。

003Ａ：アー　ナント　シンパイシタヤー。（Ｂ　イヤイヤイヤイヤ）　キオツケデー。
あー　何と　　心配したよ。　　（Ｂ　いやいやいやいや）　気をつけて。

004Ｂ：ハイ。
はい。

005Ａ：ユックリ　ヤスマハリセー。
ゆっくり　お休みなさいませ。

006Ｂ：ハーイ。
はーい。

007Ａ：マダ　キテミッカラ。
また　来てみるから。

008Ｂ：ハイ　アリカ゜トヨー。
はい　ありがとうよ。

009Ａ：ハイハイ。
はいはい。

（11-2）Ｂの調子が悪い場合。

001Ａ：アレ　ナント　チョーシ　ワルイゴッテー。
あれ　なんと　調子　　悪いんだって？

002Ｂ：ウン　ココンドゴ　　スコス　スク゜レナイ。
うん　ここのところ　少し　　［調子が］優れない。

003Ａ：ナンダベ　カオイロー　アンマリ　ヨグ　ネーネー。
何だろう　顔色　　あんまり　よく　ないね。

004Ｂ：ウン　オメーサマカ゜カオ　ダサネーガラダ。
うん　あなたが　　顔　　出さないからだ。

005Ａ：アララララ。　ンデ　　ビョーインサ　イッテ　ミデ　モライッスペ。
あららら。　それでは　病院へ　　行って　見て　もらいましょう。

006Ｂ：ウン。
うん。

007Ａ：ソノホ　イーガストー。
その方　いいですよ。

008Ｂ：ウン　ソー。
うん　そう。

009Ａ：ウン。
うん。

〈 申し出 〉

(12) 体の調子が悪く、家の片付けもできないというＢに、Ａが「（私が）片付けてやろう」というときのやりとり。

001Ａ：チョーシ　ワルソーダガラー　カタズゲサ　キタガラー。
調子　　悪そうだから　　片付けに　　来たから。

002Ｂ：ア　オリャー　ヒトリモンダガラ　ナンダリ　カタズゲラレット、　ショルイカ゜
あ　おれは　　独り者だから　　何でも　　片付けられると、　　書類が

テノ　トドク　ドゴニ　アッカラ　アンマリ　カタズゲナイヨーニ　タノムヨー。
手の　届く　　所に　　あるから　あんまり　片付けしないように　頼むよ。

003Ａ：ア　ソースカ。　（Ｂ　ウン）　ハイハイ。　ホンデ　　ネンプンニ
あ　そうですか。（Ｂ　うん）　はいはい。　それでは　適当に

カタズゲデ　（Ｂ　ハイ）　カエッカラッサ。（Ｂ　ハイ）　イーベガ。
片付けて　　（Ｂ　はい）　帰るからさ。　　（Ｂ　はい）　いいだろうか。

004Ｂ：エーヨ。
　　いいよ。

005Ａ：ハイ。
　　はい。

〈 禁止 〉

(13) 片付けの最中に、大事な写真をＡが間違って捨てようとしているときに、Ｂがそれを制止してどのようにいうか。

001Ｂ：Ａサン　ソコンドゴ　カタズケナイヨーニナ。
　　Ａさん　そこの所　　片付けないようにな。

002Ａ：ハイハイ。
　　はいはい。

003Ｂ：ソコニ　ダイズナシャスン　ハイッテッカラ。
　　そこに　大事な写真　　入っているから。

004Ａ：ア　コノシャシンネ。
　　あ　この写真ね。

005Ｂ：ウン　ナゲ゜ナイデヨ。
　　うん　捨てないでよ。

006Ａ：ハイハイ　アラララ　ワガリシター。
　　はいはい　あららら　わかりました。

宮城県気仙沼市方言会話集（場面設定会話）注記

〔１〕コッサ

「コス＋サ」（腰サ）ともとれるが、当地にこのような格助詞「サ」の用法はないはずである。おそらく、「コス」（腰）に格助詞「が」に相当する「ア」が付き、「コスア＞コッサ」の変化を起こしたものと思われる。

〔２〕(9-2) Ａが破損に対して不満を述べる場合。

この会話では、話者Ａと話者Ｂとが役割を交替している。

〔３〕テンノーサマ

天王様（テンノーサマ）は、気仙沼市八瀬（ヤッセ）地区塚沢（ツカザワ）にある八雲神社（ヤグモジンジャ）のこと。毎年、旧暦６月１４日に塚沢神楽が奉納される。

宮城県気仙沼市方言会話集（場面設定会話）担当者

収録担当者　小林　　隆（東北大学大学院文学研究科教授）
崔　　柳美（東北大学大学院文学研究科博士後期課程３年）
三沢由季子（東北大学文学部３年）

文字化担当者　小林　　隆（東北大学大学院文学研究科教授）
川越めぐみ（東北大学大学院文学研究科産学官連携研究員）
崔　　柳美（東北大学大学院文学研究科博士後期課程３年）